

コーポレート・ガバナンス

当社は、企業価値の最大化を図るためには、継続的に企業統治の強化を図ることが不可欠であると考え、公正で透明な経営、迅速で適切な情報開示、説明責任の徹底などの取り組みを進めております。

この方針に則り、「社外取締役の設置」「指名報酬諮問

委員会の設置」「役員報酬制度の改善(役員退職慰労金の廃止、株式報酬の新設、利益連動報酬制度の導入)」などを既に実施しております。

CSR活動 / コンプライアンス

(1) CSRの取り組み

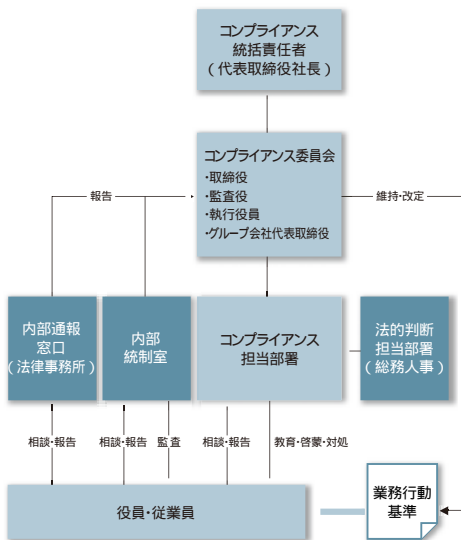
地球環境や地域社会を含むすべてのステークホルダーに対する責任を果たすため、2007年度に「CSR行動計画」を策定しました。今後は同計画に沿った取り組みを全社で着実に進め、さらに海外子会社を含むグループ全体にも拡大展開していく予定です。

(2) 企業行動憲章等の制定

「グループ企業行動憲章」の下に、会社および社員の具体的な行動指針として「企業行動規範」「社員行動規範」を定めています。また、法令遵守を徹底するための「コンプライアンス規程」「内部通報規程」を設けております。

(3) コンプライアンス委員会の設置

社長を統括責任者とする「コンプライアンス委員会」を常設し、グループ全体のコンプライアンス確保体制の整備と、社員一人ひとりに対する教育啓蒙を進めることにより、法令遵守環境の維持と問題の未然防止を図っております。



社名の由来 Machinery(機械) Electronics(電子) Chemistry(化学)



自然界が創り出す配線パターン

例えば、葉脈

植物の葉の面全体に走る筋を葉脈(よみやく)といいますが、葉脈の内部には維管束が通り、水や糖分、デンプンなどを運ぶ通路になっています。葉脈の構造は、主脈に対して側脈がある程度角度をつけて出て網目状になる「網状脈」と、側脈が主脈に対してごく小さな角度で出て、ほぼ平行に走る「平行脈」の2つに大別されます。



Management

価値創造の経営



高度な「界面創造テクノロジー」で、 エレクトロニクスの未来を支えます。



お客様と一緒に「ものづくり」を考え、
ともに成長することをめざしています。

エレクトロニクス製品の心臓部とも言える電子基板の製造プロセスでは、一般にはあまり知られていませんが、数々の薬品が使用されます。メックは1969年の創業以来、この電子基板製造用薬品の開発に取り組み、さまざまな製品の提供を通じてエレクトロニクスの進化に寄与するとともに、そこで得られた独創技術を発展させることで成長を図ってまいりました。

お客様の事業をお手伝いさせていただく当社のビジネスにおいて、基本となるのは「お客様と一緒に「ものづくり」を考えていく」というスタンスです。当社の営業・研究開発が一体となってお客様のニーズや課題をしっかりと掘り下げ、お客様が求める品質や性能を実現するために研究開発を進め、その過程において自社の技術を磨き、お客様とともに成長しつつ信頼関係を強化していく。この好循環を継続することによって、私たちが成長できると確信しています。

社会のニーズに応えることが自社の成長につながる。
そんなシナリオを描いています。

高品質で有用な製品を社会に提供することで、世界中の人々のより豊かな生活に資する。このことを私たちはメーカーとしての使命と考え、電子基板の「界面処理」をコアとする技術・製品の開発に取り組んできました。そして「独創技術で世の中の役に立つ」というビジョンのもと、数々の技術を育み、それを原動力

に厳しい競争を勝ち抜き、市場をリードする製品を次々生み出してきました。これからも当社は培った技術を、さらに発展、進化させることで、新たな価値の創造をめざしていきます。

その一方で、私たちは「社会のニーズに則した形でビジネスを伸ばしていく」という成長シナリオも描いています。たとえば近年、地球環境保全や省資源化に対する社会からの要請が高まっていますが、電子基板においても、鉛フリー化が必要となってきた耐熱材料や、ハロゲンフリー難燃材料など環境にやさしい材料に対応するための開発・生産プロセス最適化が求められています。そのために、当社では、環境対応製品をいち早く市場に提供するとともに、それらの薬品の製造工程においても、早くから環境負荷の低減に努めてきました。

さらには、従来のように機器のコンパクト化やコストダウンを狙うだけでなく、資源の有効活用のための高密度化を求める動きがますます強まっています。こうした高密度化などのさまざまなニーズに応えるのが、私たちの得意とする高度な「界面創造」技術です。

今後も事業活動のすべての側面において、環境保全・省エネルギー対策に力を入れていく考えであります。

より先を見据え、より大きな夢を思い描きながら、
持続的な成長をしていきます。

私たちメックは企業としての社会的責任を果たし、社会から信頼される企業であり続けるために、企業統治（コーポレート

ガバナンス）やCSR（企業の社会的責任）さらには環境保全への継続的な取り組みによって企業価値の向上に努めています。

これら企業価値を高める取り組みを含めて、あらゆる企業活動の原点にあるもの。私はそれを「人を大切にする」ことであると考えています。お客様の声をくみ取り、課題を解決することで顧客満足の最大化を図ることはもちろん、社訓「仕事を楽しむ」が示すように、社員一人ひとりが「大きな夢（=成功の仮説）」を描き、それを実現してゆける会社をめざしています。そういう企業こそが、お客様にも、株主様にも望まれていると思うからです。こうした顧客、株主、社員各々の満足が高まる循環をつくりあげてこそ、メックの成長もあると考えています。

エレクトロニクスの進化は今後ともどまることはありません。電子基板のさらなる高密度化によって「界面創造」を柱とするメックの技術領域も、活動のフィールドもますます広がっていくでしょう。その中でメックは、独創の技術にこだわりつつ、これまで以上に先を見据え、自由な発想で「将来の仮説=夢」を思い描きながら、長期的な企業価値の拡大に向けて、持続的な成長をめざしてまいります。

今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

経営理念

「独創の技術」
「信頼の品質」
「万全のサービス」

わたしたちは、エレクトロニクス関連の界面処理を核とする技術開発力を最大の特長としながら、「独創の技術」「信頼の品質」「万全のサービス」を信条に、グローバルな事業活動を展開し、豊かで潤いのある社会づくりに貢献します。

社訓

「仕事を楽しむ」

代表取締役社長

斎田和夫